

4コママンガでわかる 創業融資の受け方



大山俊郎税理士事務所

はじめに



はじめまして、税理士の大山俊郎です。この小冊子を開いていただいてありがとうございます。

起業家にとって、「資金」のことは必ず考えておかなければならない問題の一つです。

当たり前のことですが、会社は「資金」がなくなれば継続することができません。

起業するときには、ほとんどのケースで「資金調達」が必要になります。

起業時に必要な資金調達の方法と、もっとも実現性が高い「新創業融資制度」について紹介していきます。

起業前のかたは、ぜひこの冊子の内容を参考にしてみてください。

もくじ

はじめに.....	2
借金なしは間違い？！	4
【4コマ】 設立後によくある悩み.....	5
【4コマ】 起業で大切なことは.....	6
熱意の証明とは？	7
【4コマ】 スーパー税理マン TOSHIRO	9
【4コマ】 借入したくありません！	10
手元にお金がない状態での会社経営って.....	11
【4コマ】 なぜ創業融資がいいの？	13

借金なしは間違い？！

会社を経営するって大変なことです。

会社の数だけ経営者がいて経営判断があることでしょう。

そしてその中でも「借金はしない」という信念を持っている方もおられるかもしれません。

でもね・・・ごめんなさい。

その考えちょっと古いです！

特に会社を設立したての人ほど考えを改め、
創業融資について検討してほしいんです。

設立後によくある悩み



起業で大切なことは



熱意の証明とは？

1.自己資金

融資を受ける金額の1/10以上を自分でためていること。

と言われていますが、実際にはもう少し必要です。

※300万円の融資であれば、50万円の自己資金

※生活に不安がない状態



2.これまでの実績

- ・現在の企業に継続して6年以上勤めている
- ・現在の企業と同じ業種に通算して6年以上勤めている

など

融資の前提条件

自己資金が少なすぎる



十万円あれば
百万円借りられるん
ですよー！

生活に不安があるレベル



創業融資で
事業拡大します
今ちょっと
家賃滞納してて

出資者が
代表取締役ではない



私が代表です

といった場合は
融資を受けられません



他でも役員してます

スーパー税理マンTOSHIRO



借入したくありません！



手元にお金がない状態での会社経営って...



税金の支払いや経費、また従業員がいる場合は彼らへの給与など出て行くお金が予想以上に多い。資金のゆとりのない状態で経営していたら事業の拡大どころではないと思うで。

あと税金の滞納はあかんよ。

「ゆとりができた時に融資でも」と言っても、滞納しているってものすごい印象が悪いから。先々お金を借りにくくなってまう。

そっか・・・お金にゆとりがあった方がいいのかもしれない。

でも起業直後の僕にそんな簡単にお金って貸してもらえるんですか??



あるで！

これをイチロー君におすすめしたかったんや。

日本政策金融公庫の「創業融資」制度や！



「日本政策金融公庫」って
聞いたことあるかな？

はい、なんとなくは。
国の機関ですよな？



そう、その通り。
国が株主の組織なんや。

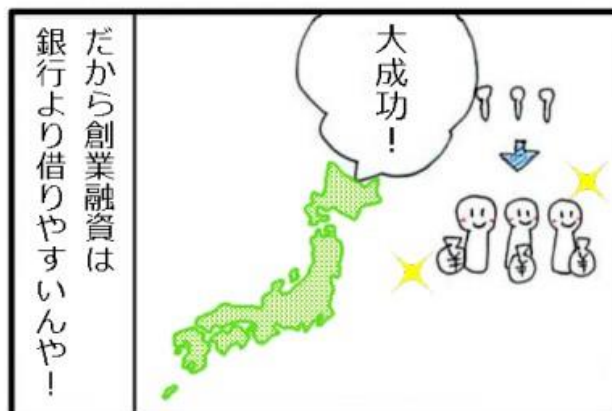
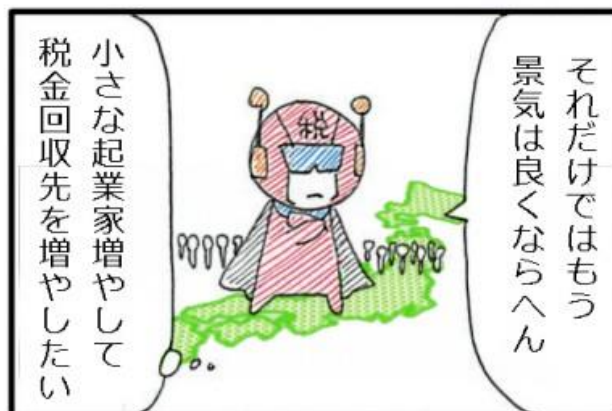
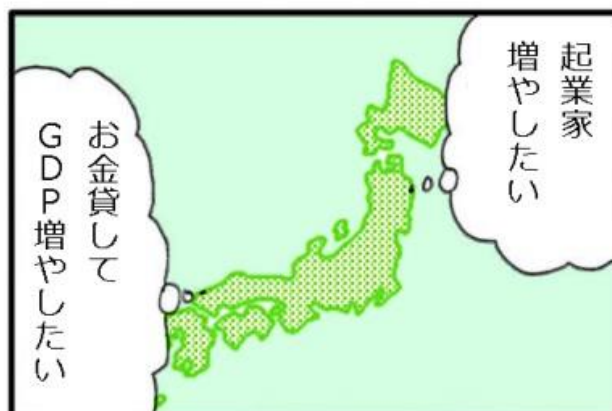
こんな公的な組織が
僕のような一人社長の会社
に
お金なんてかしてくれるんでしょうか？



それはイチロー君の状態と
事業への熱意、
その裏付け次第やな。
でも貸してもらえる可能性はかなり高いし、
今だからこそ借りるべきやと思うで。

その理由を説明するで！

なぜ創業融資がいいの？



創業融資は創業直後だからこそ借りるべき



創業融資は会社を設立してすぐの人ほどおすすめなんやで！

理由は簡単。**会社としての実績がないから**や。

えー。実績がないことって弱みじゃないんですか？



一般的にはそうやな。

でも日本政策金融公庫の創業融資に限ってはそうとは言えないんや。



もちろん熱意言うても気合いだけはあかんよ。

熱意の裏付けとして自己資金か会社を設立するまでの実績が必要や。

この先の事業計画次第で借りが可能なのでハードルが非常に低いとも言える。

つまり創業時の熱意とその裏付け、これが勝負なわけや。

国の「起業家を増やしたい」という思惑が大前提にあるから、会社として実績がない未知数の起業家にも融資はしてもらえるんやで。

「会社設立してすぐ」って？

なるほど。ちなみに「会社設立してすぐ」ってどのくらいですか？



ええ質問や！



会社を設立してから2期分の税務申告を終えてない人が創業融資の対象や。

イチロー君は会社を設立してまだ1度も決算を迎えていないから、だから僕はこんなにも創業融資をおすすめするんやで。

なるほどそうだったんですね。よくわかりました！

僕、考え方を見直してみます。長い目で考えて事業を成長させるために、創業融資を検討します！



まとめ

会社を設立したら多くの人が直面する「資金が足りない」問題について考えてみました。

借金なし経営ができればもちろん理想です。

だけどそれは、ほとんどの人にとってハードルが高いでしょう。

やりたい時に元手がないために事業の拡大を諦めるのであれば、何のための会社設立かわかりません。

そんな時にぜひ利用してみたらいいと思うのが、今回お話した日本政策金融公庫の「**創業融資制度**」です。

会社設立したてであればあるほど審査に通りやすいので利用した方がいい。これが僕の持論です。

税理士 大山はこの創業融資の書類作成からあらゆるサポート体制であなただけの資金繰りを応援します。創業融資について知りたいことがあれば気軽に[お問い合わせ](#)してくださいね。

【著作権等について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

このレポートの著作権は大山俊郎に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。